鳥羽商船高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	国語総合２

科目基礎情報

科目番号	0128	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	電子機械工学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	常用漢字クリア、国語便覧、現代文学名作選		
担当教員	豊田 尚子		

到達目標

1.国語常識として、基礎的な漢字の読み書きかでき、語彙能力を高める。
2.近現代の文学作品の背景を知る。
3.古典の文学作品の背景を知る。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	国語常識として、基礎的な漢字の読み書きかでき、語彙を運用できる。	基礎的な漢字の読み書きかでき、語彙をみにつける。	基礎的な漢字の読み書きかできず、語彙能力もない。
評価項目2	近現代の文学作品の背景を知り、説明できる。	近現代の文学作品の背景をとらえることができる。	近現代の文学作品の背景をとらえることができない。
評価項目3	古典の文学作品の背景を知り、説明できる。	古典の文学作品の背景をとらえることができる。	古典の文学作品の背景をとらえることができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	国語総合1に引き続き、低学年では、漢字学習などの基礎学力の向上を重視する。文化的教養として、一般常識のレベルでの国語常識を蓄積する。また、文章の意図を理解し、的確に説明できる文章作成能力を高める。
授業の進め方・方法	授業の前半は漢字学習を中心に語彙力を高める。国語総合1の続きであるので、漢字プリントは、№13から始まる。 授業の後半は板書を中心とした講義となる。授業で扱う資料も試験対象となる。
注意点	1.漢字プリントは、目的と方法を意識して取り組むこと。まとめて提出をすることがあるので自分で管理すること。再発行はしない。 2.ノートを取るのは当然の行為であるため、ノート提出の加点はない。 3.試験後の課題は重要な提出物となる。授業内に完成させて提出する。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス	テキストの確認、漢字学習の進め方、課題の取り組み方を知る。
		2週	漢字学習№13 近現代文学史①	漢字を学習する。 近現代文学史の用語の復習をする。
		3週	漢字学習№14 近現代文学史②	漢字を学習する。 近現代文学史の全体の流れを確認する。
		4週	漢字学習№15 近現代文学史③	漢字を学習する。 写実主義の作家と作品を学ぶ。
		5週	漢字学習№16 近現代文学史④	漢字を学習する。 自然主義の作家と作品を学ぶ。
		6週	近現代文学史まとめ	主要な作品を読み味わう。
		7週	前期中間試験	設問に正しく解答する。
		8週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。
	2ndQ	9週	近現代文学史⑤	反自然主義の作家と作品を学ぶ。
		10週	漢字学習№17 近現代文学史⑥	漢字を学習する。 反自然主義の作家と作品を学ぶ。
		11週	漢字学習№18 近現代文学史⑦	漢字を学習する。 反自然主義の作家と作品を学ぶ。
		12週	漢字学習№19 近現代文学史⑧	漢字を学習する。 反自然主義の作家と作品を学ぶ。
		13週	漢字学習№20 近現代文学史⑨	漢字を学習する。 反自然主義の作家と作品を学ぶ。
		14週	近現代文学史まとめ	主要な作品を読み味わう。
		15週	前期期末試験	設問に正しく解答する。
		16週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。
後期	3rdQ	1週	後期のガイダンス	後期の授業の進め方を確認する。
		2週	漢字学習№21 近現代文学史⑩	漢字を学習する。 反自然主義の作家と作品を学ぶ。
		3週	漢字学習№22 近現代文学史⑪	漢字を学習する。 反自然主義の作家と作品を学ぶ。
		4週	漢字学習№23 近現代文学史⑫	漢字を学習する。 反自然主義の作家と作品を学ぶ。
		5週	漢字学習№24 近現代文学史⑬	漢字を学習する。 反自然主義の作家と作品を学ぶ。
		6週	近現代文学史まとめ	主要な作品を読み味わう。
		7週	後期中間試験	設問に正しく解答する。
		8週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。

	4thQ	9週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。
		10週	漢字学習№25 古典文学史①	漢字を学習する。 古典の文学史の全体を知る。
		11週	漢字学習№26 古典文学史②	漢字を学習する。 上代の文学史を学ぶ。
		12週	漢字学習№27 古典文学史③	漢字を学習する。 上代の文学史を学ぶ。
		13週	漢字学習№28 古典文学史④	漢字を学習する。 上代の文学史を学ぶ。
		14週	古典文学史まとめ	上代の具体的な作品を資料として確認する。
		15週	後期期末試験	設問に正しく解答する。
		16週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。	2	
				代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを理解して味わうとともに、その効果について説明できる。	2	
				文章を客観的に理解し、人間・社会・自然などについて考えを深め、広げることができる。	2	
				文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。	2	
				鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的な文章（詩歌、小説など）の創作をとおして、感受性を培うことができる。	2	
				読書習慣の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得して自らの表現の向上に生かすことができる。	2	
				現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用句、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。	2	
				代表的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。	2	
				古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができる。	2	
				代表的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。また、それらに親しもうとすることができる。	2	
				教材として取り上げた作品について、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できる。	2	
				情報の収集や発想・選択・構成の方法を理解し、論理構成や口頭によるものを含む表現方法を工夫して、科学技術等に関する自らの意見や考えを効果的に伝えることができる。また、信頼性を重視して情報を分析し、図表等を適切に活用・加工してコミュニケーションに生かすことができる。	2	
				他者の口頭によるものを含む表現について、客観的に評価するとともに建設的に助言し、多角的な理解力、柔軟な発想･思考力の涵養に努めるとともに、自己の表現の向上に資することができる。	2	
				相手の意見を理解して要約し、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築し、合意形成にむけて口頭によるコミュニケーションをとることができる。また、自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。	2	
				社会で使用される言葉を始め広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。また、それらを適切に用い、社会的コミュニケーションとして実践できる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	40	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0